朝鮮社会科学者協会

通　報



2

2016

通　　報

朝鮮社会科学者協会

累計番号 6

目　　次

☆論　文☆

☆写　真☆

金正恩委員長が金日成・金正日主義を深化発展させていることについて（2）

リ・ジョンファ

金日成・金正日主義を自主時代の指導思想としてさらに輝かせるため、金正恩委員長は時代と革命発展の要求に即して金日成・金正日主義を深化発展させている。

「金正恩委員長が金日成・金正日主義を深化発展させていることについて（2）」では、金正恩委員長の天才的で精力的な思想理論活動によって金日成・金正日主義の構成部分であるチュチェの指導方法が深化発展したことについて叙述する。

金正恩委員長は次のように述べている。

「偉大なチュチェ思想、先軍思想に基づいて社会主義偉業の最終的勝利のための革命理論と指導方法を全面的に体系化し、社会生活のすべての分野を人民大衆の自主的志向と要求に即して革命的に改造、変革していく道を明示しているところに、われわれの時代の完成された革命の指導思想としての金日成・金正日主義の突出した歴史的地位と百戦百勝の威力があります」

金正恩委員長は、つとに金正日総書記の先軍革命指導を補佐しながら総書記の卓越した、かつ洗練された活動方法と気高い活動作風を体得した。

今日、金正恩委員長は、人民軍部隊と人民経済各部門に対する現地視察の道で主体的な大衆指導方法、革命指導方法を発展させ、豊富にしている。

委員長はまず、党の唯一的指導体系を確立する活動をさらに深化させることについて強調している。

委員長は、党の唯一的指導体系を確立する活動を党中央を唯一中心とする全党の政治的・思想的統一と団結を磐石のように固めることに重点を置

いて深化させ、党中央の唯一的指導の下に全党、全軍、全人民が一体となって動く革命的規律と秩序を確立し、党と革命隊伍をしっかり整え、その戦闘的威力を全面的に強化しなければならないと述べている。

委員長はまた、党と国家活動全般に人民大衆第一主義を具現することについて強調している。

委員長は、人民を限りなく尊重し、人民の運命を守り、人民の利益と便宜を最優先、絶対視するという思想、幹部は未踏の雪道を先頭に立って踏み分け、靴の底がすり減るほど走りに走り、人民が望むこと、人民が恩恵を受けることを一つでも多く探し出して行う人民の真の忠僕にならなければならないという思想を提示している。

委員長は、発展する時代の要求に即して幹部の活動方法と作風を革新することについても強調している。

委員長は、幹部は事務室的活動方法と消防隊式活動態度を克服し、指導を下部に接近させ、現実に足をすえ、世界を視野に入れてすべての活動を新たに着想し、革新的に展開しなければならないという思想と、幹部は実直で清廉潔白でなければならず、良心的に生活しなければならないという思想を提示している。また、モデル単位を創造し、それを火種として連帯的革新を起こすという思想、万里馬速度で飛躍の熱風を巻き起こすという思想、科学技術の発展をすべての活動に確固として優先させ, 革命的な思想攻勢によって大衆の精神力を余すところなく発揮させる思想、給養活動はすなわち社会主義防衛戦であることを深く認識し、幹部は人民の生活を温かく見守らなければならないという思想も提示している。

委員長は、幹部が活動方法と活動作風を時代の要求に即して一新する上で指針とすべき貴重な思想と理論を打ち出し、チュチェの指導方法を新たな段階に深化発展させ、その牽引力と生命力がいつにも増して強く発揮されるようにした。

特に、金日成主席と金正日総書記が創造し、発展させた革命指導方法

である先軍指導方法が金正恩委員長によってさらに発展し、豊富になっている。

委員長が深化発展させた先軍指導方法としては、頑強な攻撃戦によってすべての仕事を一気に片付ける闘争方法、軍民大団結を成し遂げるうえで軍隊が中心となって、軍民共同作戦によって大建設戦闘で飛躍の熱風を巻き起こす方法などをあげることができる。

委員長は、金日成・金正日主義の旗を高く掲げて国の自主権と尊厳を守り、社会主義の最後の勝利を早めるための闘争を陣頭に立って指揮し、時代と革命が提起する理論的・実践的問題に完璧な解答を与える新しい思想理論を絶えず打ち出している。

金日成主席と金正日総書記にたいする崇高な徳義心と非凡な思想的・理論的英知、強い実行力を備えた金正恩委員長がいるがゆえに、偉大な金日成・金正日主義の宝庫は一層豊富になるであろう。

チュチェ哲学は政治哲学

リ・ソンチョル

チュチェ哲学は社会の発展を最も正しい道に導く政治の原理的基礎を明らかにする政治哲学である。

金正日総書記は次のように述べている。

「社会の発展は政治によって導かれるのであり、社会の発展を最も正しい道に導く政治の原理的基礎を明示する哲学がほかならぬチュチェ哲学なのです。このような意味で、チュチェ哲学は政治哲学だと言えます」

哲学が政治哲学になるためには、政治の原理的基礎を明らかにしなければならない。

チュチェ哲学は政治の原理的基礎を明らかにしている。それは、チュチェ哲学が創始された二つの出発点を見てもよくわかる。

金日成主席がチュチェ哲学を創始した時、その出発点としたのは二つの真理である。

一つは、革命の主人は人民大衆であり、人民大衆の中に入って彼らを教育し組織動員してこそ革命に勝利することができるということであり、もう一つは、革命は他人の承認や指示によってではなく、自分の信念によって自らが責任をもって行わなければならず、革命におけるあらゆる問題を自主的に、創造的に解決しなければならないということである。

主席が革命的実践闘争の過程に時代の要求と朝鮮革命の具体的な現実を洞察し、発見したこのチュチェの真理は政治を実践する上で大きな意義を持つ。

チュチェの真理は、人民を導く政治的指導の本質的特徴とその実現方式を規定している。この真理は、人民に対する政治的指導は人民大衆の中に入って彼らを教育し組織し、闘争に立ち上がらせることにならなければならず、

革命勢力も人民大衆の中から育成し､革命闘争におけるあらゆる問題も人民大衆の知恵と力に依拠して解決することにならなければならないことを解明している。

同時に、チュチェの真理は、国家間の関係において堅持すべき政治的立場を規定している。この真理は、それぞれの国で革命を導く政治は自主的な思考と選択、自主的な信念と決心によって実現されなければならず、自国の実情に即して創造的に実現されなければならないことを解明している。

このチュチェの真理を出発点として、人民大衆を革命の主人と見なし、自主性をその本性と見なすチュチェ哲学が創始された。

政治哲学として創始されたチュチェ哲学は､一世紀近くの間､指導実践､政治実践に立派に具現され、朝鮮革命と自主時代の歴史を、偉大な党と領袖の最も正しく成功した政治の歴史､最も老練でかつ洗練された政治的指導の歴史として記録されるようにした。

人間を自分の運命の主人として押し立てるチュチェ哲学、政治哲学は、帝国主義と支配主義、事大主義と教条主義を排撃し、主体性と民族性を堅持していく自主政治、官僚主義と個人主義を克服し、社会集団の和合と協力を図る愛情と信頼、一心団結の政治、社会の全構成員に政治的自由と権利、社会の管理、運営の権利を付与する真の民主主義政治、革命的銃剣を優先させて革命と建設を行う先軍政治のすべての方式と方法論を解明するわれわれの時代の政治の原論である。

金正日総書記は、チュチェ哲学が革命実践の要求を反映し、革命実践によってその真理性と正当性が実証された最もすぐれた生命力のある政治哲学であることを論証することに思索をめぐらし、精力を傾けた。

総書記が主席の革命思想を全面的に定立､体系化して発表した「チュチェ哲学の理解で提起される若干の問題について」「チュチェ思想について」「チュチェ思想教育における若干の問題について」「チュチェ哲学にたいする正しい観点と理解をもつために」「社会主義建設の歴史的教訓とわが党の

総路線」「社会主義は科学である」「チュチェ哲学は独創的な革命哲学である」など多くの著作は、チュチェ哲学こそ朝鮮労働党の政治哲学であることを科学的に論証した歴史的な文献である。

先軍時代の青年突撃精神

キム・チャンギョン

先軍時代の青年突撃精神は、朝鮮労働党創立70周年までに白頭山（ペクトゥサン）英雄青年発電所を時代の大記念碑としてりっぱに建設せよという党の呼びかけに応えて、青年たちが朝鮮青年運動史に輝く偉勲の足跡を白頭の大地にしるす闘争の過程で創造した精神である。

先軍時代の青年突撃精神は、党の呼びかけを胸に刻み、ひたすらに突き進む「まっすぐ」の精神であり、炸裂する爆薬のように一撃の下に山をも崩し、川の流れをも塞き止める強い攻撃精神であり、形容しがたい無条件の下でも同志的友愛と集団の威力によって困難を乗り越えていく自力自強の精神である。

白頭山英雄青年突撃隊員たちは、首都平壌（ピョンヤン）から遠く離れた深山渓谷で数年にわたって万年大計のダムを築き、貴重な青春時代の力と熱情を惜しみなく捧げた。

酷寒に運搬手段が凍り付くとそりをつくって輸送路を開いた突撃隊員たちや、西頭水の冷たい水の中に飛び込み、全身が「氷柱」となってレールを支えた決死隊員たちをはじめなど、発電所建設のために尽くした青年たちの革命性と犠牲的精神、愛国心の前では誰もが頭を下げた。

特に、朝鮮労働党から授かった白頭青春の胆力と勇猛さによって昼夜を分かたぬ戦闘を繰り広げ、10 年間行った作業量に相応しい仕事をわずか120余日間にやり遂げて1号発電所のダムを完成したことは、朝鮮労働党の青年強国建設史を目覚しい勤労の成果をもって輝かせるために総決起した白頭の青春と建設者の愛国的献身が生んだ忠誠のたまものであり、党の懐で教育、育成された朝鮮青年だけが創造しうる英雄青年神話である。

発電所の建設で多忙を極める中でも、水没区域の人民のために社会主義

の理想村を築き、発電所地区の樹林化、園林化も進んで引き受けた青年突撃隊員と軍人の闘争は、党の政策を一つ残らず決死貫徹する青年の気高い忠誠の世界を如実に示している。

この世に朝鮮の青年のように、ネオンがきらめく都市の繁華街ではなく、人跡まれな山奥に率先して駆けつけ、党の志を実現し、そこに生き甲斐を感じる青年、自ら「白頭青春大学」というカリキュラムをつくり、毎日毎時、良心の点数をつけながら自らを革命的に修養していくりっぱな青年はいない。

白頭の清い水を飲み、空気を吸いながら心身を鍛え、白頭の烈風に当たって胆力と信念を培った青年前衛は、朝鮮労働党の最も頼もしい継承者であり、社会主義祖国を支える力強い柱である。

天池の清い水のように、純潔で白頭のチョウセンカラマツのように剛直な精神が全国にみなぎるようになれば、白頭山大国の威力はますます強まるであろう。

朝鮮人民は、血のにじむような努力と犠牲的闘争によって朝鮮労働党の決心はすなわち実践であることを証明し、先軍時代の青年前衛の気概を全世界にとどろかせた朝鮮の青年の模範に倣い、社会主義強国の建設で絶えず高揚を起こしている。

朝鮮における設備、原料、資材の国産化

白明吉

今日、朝鮮ではすべての工場、企業で原料と資材、設備の国産化を実現することを中核的な問題として打ち出し、それを実現するための闘争が力強く展開されており、自力更生の誇るべき伝統が年代と世紀を継いで継承されている。

金正恩委員長は次のように述べている。

「人民経済の自立性と主体性を保障する上で中核的な問題は、原料と燃料、設備の国産化を実現することです」

自国の資源と人民の力によって経済を発展させることは、国と民族の自主性を確実に実現し、真の繁栄を遂げるための必須の要求である。

朝鮮労働党は解放後、新しい祖国建設の初期に経済建設と人民生活に必要な物質的需要を基本的に自力で生産、供給するという路線を打ち出し、これを一貫して堅持してきた。

現在、設備、原料、資材の国産化を実現することは、社会主義経済の主体性と自立性をさらに強化するための重要な要求となっている。

今、アメリカとその追随勢力はわが共和国に対して、人民生活に必要な物資から主な工場設備や原料、資材、先端技術にいたるまで、ほとんどの分野における取引を制限、禁止するために狡猾に策動している。その目的は、なんとしても朝鮮の自立経済の威力を弱め、朝鮮を経済的に孤立させることにある。

帝国主義者のこのような策動を粉砕し、社会主義経済の主体性と自立性を確固として堅持し、さらに発展させるためには、設備、原料、資材の国産化を実現する道しかない。

設備、原料、資材の国産化を実現することだけが自力自強の精神によ

って帝国主義者の悪辣な経済制裁策動を粉砕する道であり、金日成主席と金正日総書記の愛国遺産であり自主的運命開拓の万代の財貨である自立的民族経済をさらに活性化して社会主義経済強国を一日も早く建設する道である。

現在、設備、原料、資材を国産化するための闘争は、われわれの思想陣地を固守するための重要な保証である。

設備、原料、資材の国産化は単なる経済的・実務的問題ではなく、社会主義の思想陣地に関する深刻な政治的問題である。

思想は社会主義の生命であり、思想陣地の強固さに社会主義の不敗性がある。

外国の設備と原料、資材に依拠して経済を発展させようとすれば、自国の経済の命脈を断ち切ってしまうだけでなく、人々を思想的、精神的に堕落させる。人々の生活領域に外国の物品が入り込み、、それを使う癖がつくと自国の経済的潜在力が信じられなくなり、外国に対する幻想と依存心が生まれ、しまいには社会主義の優越性に対する確信が崩れてしまう。

外国のものを頭から崇拝し、輸入品を使うことを誇らしく思う風潮は社会主義祖国の明日を担って立つべき青少年を駄目にするので一層危険である。

国産化の比重を高めることは、人民が社会主義に対する信念をさらに固め、全社会に社会主義思想がみなぎるようにする上で大きな意義を持つ。

現在、設備、原料、資材を国産化するための闘争は、わが祖国を一日も早く世界の先頭に立たせるための重要な事業である。

今日、わが国は政治と軍事、文化の分野で大きな成果を収めた。

すでに、得た勝利と成果を強固にしながら人民にこの世にうらやむことのない物質・文化生活をもたらせば、わが祖国はすべての面で世界の先頭に立ち、朝鮮式社会主義の優越性と威力を余すところなく発揮することができる。

歴史が示しているように、人民生活の問題において輸入に依存し始めるときりがなく、何も解決されず、結局は経済的に従属することになる。

人民生活向上の問題を抜本的に解決する根本方途と近道は、まさに原料、資材、設備の国産化を実現して工場と企業、協同農場で生産を飛躍的に増やすところにある。

生産と建設、近代化の実現において国産化の比重を最大に高めることは、国力全般を強固にし、21 世紀の知識経済強国の前列に堂々と立つための重要な事業である。

偉大な党の指導の下に、今、全国に国産化の熱風がいつにもまして強く巻き起こっている。

今日、わが国では、われわれの技術によって人工衛星の打ち上げを成功させた矜持と自負を抱いて、重工業、軽工業、農業、基本建設をはじめ人民経済のすべての部門で自強力第一主義を強く発揮し、設備、原料、資材の国産化を実現するための闘争で大きな成果を収めている。

わが国では、すでにわれわれの原料、資材、技術に依拠するチュチェ鉄生産システム、チュチェ肥料生産システム、チュチェビナロン生産システムを確立し、その成果を固めながら人民経済のすべての部門で設備、原料、資材を国産化するための旋風を巻き起こしている。

空にはわれわれが作った飛行機が飛び、地下にはわれわれの科学者、技術者と労働者階級が 100％われわれの技術、原料、資材によって作った地下鉄電車が走っている。

最近、われわれの科学者、技術者が自分の力と技術によって製作した近代的な設備を備えた平壌幼児食品工場は、原料の投入から生産、包装、保管、運搬にいたるすべての生産工程がオートメ化、無人化されており、製品の安全性をしっかり保障できるように生産現場のすべての要素が無菌化、無塵化されている国産化された工場である。

改築されたこの工場を訪ねた金正恩委員長は、平壌幼児食品工場の近代化で特に気に入ったのは、すべての生産工程にわれわれの科学者、技術者が設計し、われわれの手で作った先端設備を完備していることであるとし、

党の近代化方針において中核をなすのはまさに国産化であると強調した。

平壌幼児食品工場を手本にして平壌穀物加工工場をはじめ、多くの食品工場が設備、原料、資材を国産化した近代的な工場に改築された。

チョンリマ製鋼連合企業所では、高温空気燃焼技術が導入された線材加熱炉の建設に必要な耐火物や蓄熱体など重要な資材を国産化した。線材加熱炉は、われわれの原料、資材、技術に基づいて作り上げた今一つの自強力の創造物である。この加熱炉は輸入に依存していた加熱炉に比べて初期投資がずっと少なく、燃料消費基準が低いなど、多くの長所がある。

新義州化粧品工場では、世界的に数カ国の独占物になっていた皮膚天然保湿剤を自力で開発、導入し、次いで各種の機能性化粧品の生産に使う原料を国産化して、人民の間で好評を博する製品を大量に生産している。

近代的なチョンリマ・タイル工場、天池潤滑油工場、元山製靴工場などは、帝国主義者の経済封鎖策動や世界的な経済変動にも微動だにせず生産を正常化できる主体性が確立した工場である。

金正淑平壌紡織工場では、科学研究機関との連係の下に、カバン用布の生産工程はもとより、その染色工程まで自らの力と技術によって朝鮮式に新たに設けるという大きな成果を収めた。

この工場を訪ねた金正恩委員長は、われわれの労働者階級が築いた近代的で国産化されたカバン用布生産基地を見て回って大いに満足し、わたしは各部門を現地指導する際、われわれの力と技術によって設備、資材の国産化を実現するよう強調しているが、金正淑平壌紡織工場が党の意図を敏感に受け止めた、国産化は金正淑平壌紡織工場のように行うべきであると、工場の幹部と労働者を高く評価した。

保健医療部門の各工場、企業では、最新科学技術に依拠して生産工程を近代化し、われわれの力と技術によって螺旋式脳 CT、電子胃内視鏡などの診断・治療設備と医療機器を次々と作り出すという目覚しい成果をあげた。

今日、わが国で燃え上がっている国産化の熱風は、社会主義強国建設に立ち上がった人民を力づけており、経済強国の明るい未来を早めている。



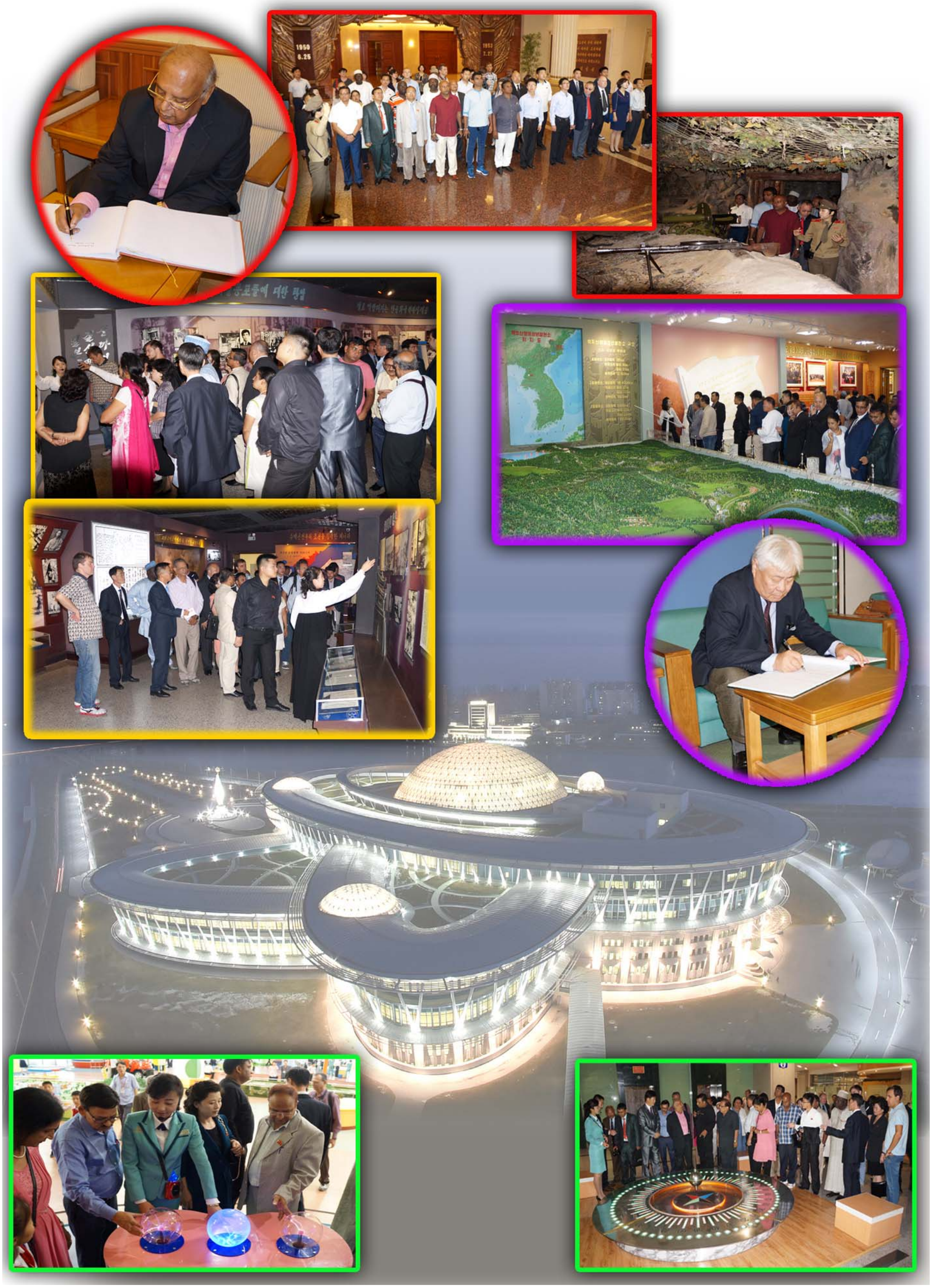


友人たちの平壌訪問

2016年9月




INTERNATIONAL SEMINAR ON THE JUCHE IDEA FOR
ANTI-IMPERIALISM, INDEPENDENCE AND SOLIDARITY
ITALY


1950
6.25
1953
7.27

